

学校における働き方改革の推進

北斗市校長会

社会の変化や学校課題が多様化する中、学校では、教師の長時間勤務が看過できない状況となっています。

現在、新しい学習指導要領が実施されておりですが、これを円滑に実施していくためにも「学校における働き方改革」の推進が求められています。

この「学校における働き方改革」は、教師の業務負担の軽減を図り、限られた時間の中で、教師の専門性を生かしつつ、授業改善のための時間や子どもと接する時間を確保し、教師が日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、教師の人間性や創造性を高め、子どもに対して効果的な教育活動を持続的に行うことができる状況をつくり出すことを目指しています。

北斗市校長会では、国や道から出されている資料や北斗市教育委員会の指導を基に、各校の実態に合わせた取り組みを進めております。

まずは、子どもと向き合う時間や授業準備、教材研究の時間を確保するために、それ以外の時間の使い方を工夫しています。

例えば、会議や研修の持ち方ですが、タブレット端末を活用することで、これまで使用していた会議用の印刷物を不要

とします。これにより印刷する手間と時間を節約しています。また、保護者向けの学校通信や各種お知らせについては、これまで紙の印刷物で発行していましたが、メール送信にすることで、確実に早く情報をお伝えできるようにしています。



ICTを活用した校内研修

北斗市においては、従来から、少人数授業補助教員や学習支援員を配置しております。学校では、これらを活用することにより、落ち着いた環境の中で個に応じた学習を進めることができている。また、道からは、スクールサポートスタッフや学習指導員が配置されている学校もあります。この人的配置は、各校の働き方改革を推進する大きな支えにもなっています。

よりよい学校づくりのために、保護者や地域の皆さまに学校の取り組みを知っていただくことで、共に働き方改革を進めていくことが大切だと考えております。

(北斗市校長会 久根別小学校)

校長 西村 和彦

冬の関節痛・水分補給

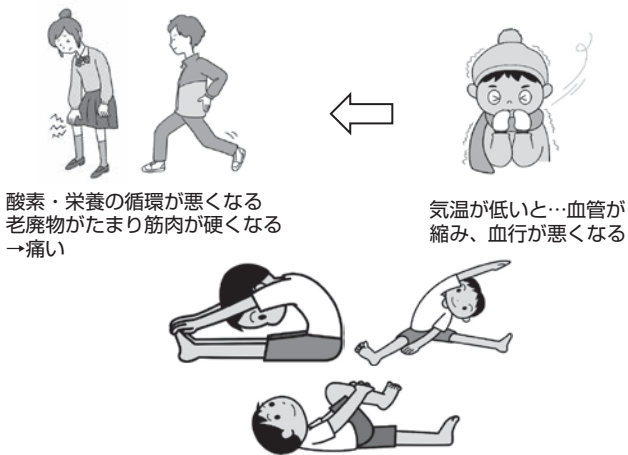
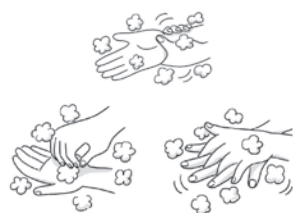
北斗市学校保健会

寒いと固まる！

関節の痛みと聞くと、インフルエンザなどの感染症による関節痛、中高年の方に多い膝痛、腰痛などがイメージされます。しかし、冬はこうしたこと以外にも年齢に関係なく体に負担がかかって関節が痛くなる、肩がこることもあります。冬の関節の痛みやけがを防ぐために、冷えて固まった体をストレッチでほぐしましょう。

冬も水分補給

小学校では冬でも体育などの後には半袖の児童がいます。激しい運動や強めの暖房は冬の熱中症の要注意ポイントになります。衣類や換気で体温を調節し水分補給をすることが大切です。また、冬の乾燥は、インフルエンザなどのいろいろな感染症のウイルスが好む環境です。汗をかくことが少ないため水分補給を忘れがちですが、こまめな水分補給が必要です。コロナ禍で身についた丁寧な手洗い、プラス水分補給で乾燥、感染症対策をして元気に冬を過ぎましょう。



酸素・栄養の循環が悪くなる
老廃物がたまり筋肉が硬くなる
→痛い

気温が低いと…血管が縮み、血行が悪くなる

(北斗市学校保健会 浜分小学校)

養護教諭 松浦 晶子